

みやぎ街道交流会

みやぎ街道交流会
ニュース第39号

2018. 12. 27 発行

題字：高倉 淳初代会長 揮毫

報告 I

「綱村公 & 肴の道交流会」

平成30年10月6・8日

今年は、仙台藩4代藩主伊達綱村(肯山公)の三百年御遠忌にあたることから、「綱村公が塩竈地域にもたらした様々な影響についての講演会」と、関連して「塩竈から仙台北下までの肴の道探訪会」を開催しました。

[主催:NPO みなとしほがま/みやぎ街道交流会 共催:多賀城市史跡案内サークル]

【第一部】シンポジウム[講演会] 10月6日(土)13:30~17:00 塩竈公民館 (参加者170名)

共通テーマを『伊達綱村(肯山公)と貞享の特令をめぐって~政治・経済・文化史の視点から~』として、次の演題で3名の先生に講演をいただきました。

- ①「4代綱村公とお家騒動」
(宮城学院女子大学学長 平川新氏)
- ②「綱村治世の特色~産業政策・文化政策を中心に~」
(元仙台市市史編さん室長 菅野正道氏)
- ③「塩竈の御仮屋御殿・貞享の特令~『塩竈風土記』から見た」(東北学院大学経営学部長 斉藤善之氏)



平川・菅野・齋藤の各先生

専任特令シンポ

伊達綱村と塩竈歴史探る

専門家政治や人物像解説

貞享特令は1685年、仙台藩の領内・領外にわたって、領民に課せられた塩課・酒課・紙幣課・紙幣課の4つの特令をめぐって、政治・経済・文化史の視点から、約170人が参加し、綱村と塩竈の関わりを考えた。

塩竈特令は1685年、仙台藩の領内・領外にわたって、領民に課せられた塩課・酒課・紙幣課・紙幣課の4つの特令をめぐって、政治・経済・文化史の視点から、約170人が参加し、綱村と塩竈の関わりを考えた。

貞享特令は1685年、仙台藩の領内・領外にわたって、領民に課せられた塩課・酒課・紙幣課・紙幣課の4つの特令をめぐって、政治・経済・文化史の視点から、約170人が参加し、綱村と塩竈の関わりを考えた。

貞享特令は1685年、仙台藩の領内・領外にわたって、領民に課せられた塩課・酒課・紙幣課・紙幣課の4つの特令をめぐって、政治・経済・文化史の視点から、約170人が参加し、綱村と塩竈の関わりを考えた。

【第二部】街道談義(懇談交流会)
10月6日(土)18:00~20:00 丸勝会館
講演終了後、講師を囲んで街道談義に花が咲きました。

【第三部】肴の道(塩竈街道)探訪会 10月8日(月・祝日)9:00~15:30 (参加者:20名)

ルート図

貞享の特令に関連して、塩竈湊から仙台北下への肴の道を斉藤善之先生の案内で探訪しました。

【凡例】

探訪会ルート	徒歩区間	旧街道	——
		旧街道以外	- - - -
探訪会ルート	バス乗車区間	旧街道	——
		旧街道以外	- - - -
		今回ルート以外の旧街道区間	——

(次頁へ続き)

【今回号の目次】

- 報告 I 綱村公&肴の道交流会 P1
- 報告 II 奥州街道鬼死骸地区の橋梁架替え P2
- 報告 III イザベラ・バード来日140年記念とうほく街道会議山形大会 P3

【編集後記】

○みやぎ街道交流会ニュース第39号をお届け致します。
○今回号は、秋からの3つの街道イベント等の報告です。特に、奥州街道鬼死骸地区は、地区関係者による草刈りが長い間懸案でした。共に活動することで街道の素晴らしさが認識された様で、うれしい限りです！
○最後になりましたが、1年間お世話になりました。皆様、良い年をお迎えください。



報告 II 奥州街道 一関市真柴字祈禱(鬼死骸)地区の橋梁架替え

- 奥州街道のうち、栗原市の大崎市境から一関市真柴字祈禱(旧鬼死骸村)の旧国道4号までの街道旧観をよく残している6区間・5.9kmのうち、一関市真柴字祈禱地区(鬼死骸地区)の約400mは、地元の自主的な刈払いや行政の支援等による刈払いが継続して行われてない。そのため、地元の「いわいの里ガイドの会」が真柴市民センターと調整を進め、平成30年5月12日に7団体・19名の参加により、刈払いを実施しました(7月1日発行の当交流会ニュース第38号で報告済)。また、H23年8月に架橋された溜池部の橋梁の老朽化と一部ぬかるみ区間の対策、及び地区住民参加による継続的な草刈りが課題となっていました。
- そのためまずは、有壁宿～真柴間の貴重な街道資源を知って貰う目的で、地元の真柴地区まちづくり協議会に呼び掛けて、今年11月17日に「トライアルツアー」と意見交換会を実施しました。(参加者:真柴まちづくり協議会8、いわいの里ガイドの会11、くりはら街道会議・みやぎ街道交流会4、有壁宿助郷の会2 計25名)
- また、今月1日に橋梁の架替えとぬかるみ区間の対策を実施しました。(参加者:いわて街ネットワーク11、真柴まちづくり協議会7、いわいの里ガイドの会4、くりはら街道会議・みやぎ街道交流会1、有壁宿助郷の会1 計24名)
- これらの結果を受けて、真柴市民センターと真柴まちづくり協議会では、来春に地区住民へ参加を呼び掛けた探訪会の開催や草刈りの実施を検討しています。



H30.11.17 トライアルツアー



H23.8.27 当初架設時



架替え前



H30.12.1 架替え作業



架替え完成

会費の納入に関して

○既に会費納入いただきました会員の皆様には、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

○なお、当年度の会費は引き続き随時受け付けておりますので、納入がお済みでない方は、下記口座までお振込みいただくか、みやぎ街道交流会事務局までお持ちください。

【会費のお振込み先】
 仙台銀行 上杉支店 普通口座 2523091
 名義:みやぎ街道交流会 会計 馬場恭子

会員登録内容に関して

○会員登録内容の変更がある方は「会員種別異動届書」を事務局までご提出ください。

○会員種別異動届書が必要な方は、事務局までお気軽にお問い合わせください。

※あなたの会員登録内容は、配付済みの「会員名簿」を参照ください。

【事務局】 〒980-0802 仙台市青葉区二日町13-17
 TEL 080-3322-1966 FAX 022-262-0379
 Mail miyagi.kaidou@gmail.com

イザベラ・バード来日140年記念 とうほく街道会議第14回交流会 山形大会

(平成30年11月9～10日)

- ◆イザベラ・バードは、明治11年(1878)に来日し、数ヶ月に及んだ横浜から東北・北海道の旅を『Unbeaten Tracks in Japan』(邦訳本:『日本奥地紀行』)として著しました。
- ◆この書は、世界を旅している女性探検家としてのバードの鋭い観察眼と優れた表現力で、明治初期の自然・人々の生活・社会の様子などを詳細に著した一級の歴史書とも言えるものです。
- ◆平成30年は、イザベラ・バード来日140年となることから、多くの方々が『日本奥地紀行』から地域の魅力を再認識し、誇りにするとともに、山形県内各地の活動や地域資源のネットワーク化を目的として、記念大会を開催したものです。

● 第一部 フォーラム

(平成30年11月 9日/山形市・山形テルサ)

【日本奥地紀行」朗読】

【主催者・来賓等挨拶】



➢ つるおかルネサンスの会
國井美保・本間尚子氏
時岡敬子訳『日本紀行』から一部(第22信:市野々にて、第23信:小松・東洋のアルカディア、第24信:新しい橋・山形・製糸工場)を朗読

【会場の様子】



【パネル展の様子】

(テルサホール・ホワイエ)



【基調鼎談】「イザベラ・バードと『日本奥地紀行』の魅力」

(テルサホール)



➢ バードの『日本奥地紀行』は各方面から再評価されており、「旅の達人・慈愛の国際人」であるバードの魅力を探り、またバードの歩いた各地の地域資源の活かし方や地域間の交流・連携について考えました。
中村 英夫(東京大学名誉教授)
船山 龍二(JTB相談役/山形市出身)
渋谷 光夫(アルカディア街道IB倶楽部会長) [進行]

【イザベラ・バードに関する交流・連携ネットワークの設立宣言】

(テルサホール)



➢ 山形大会実行委員会設立趣意を受け、大会の成果として「イザベラ・バードのみち交流・連携ネットワーク」を設立しました。

【設立発起団体】 アルカディア街道IB倶楽部 とうほく街道会議
特定非営利活動法人 全国街道交流会議 一般財団法人 日本みち研究所
【宣言読み上げ人】 Lisa Somers (リサソマース)さん

【第1分科会】 「アルカディア街道を活かした地域づくりと観光」

(テルサホール)



➢ バードの歩いたアルカディア街道の変遷と沿線地域の状況を踏まえながら、これからの地域づくりにどの様に生かして行くべきなのか。そして、この街道を観光(インバウンドも含めた交流人口拡大)に繋げるかを考えました。
コーディネーター: 宮原 育子(宮城学院女子大学現代ビジネス学部長)
パネラー: 申橋 弘之(金谷カテッジイン創業者の孫)、古賀 方子(全国街道交流会議専務理事)、西田 徹(金山町景観政策推進員)
アドバイザー: 和田 賢哉(山形河川国道事務所長)

【第2分科会】 「『日本奥地紀行』の描写と魅力」

(3F:アブローズA)



➢ 『日本奥地紀行』の内容に対して、旅行作家の視点から考察しながら、本書の記載に沿って実際に歩き、地名や当時の風習などの検証や発見を通し、歩く旅の楽しさを考えました。
コーディネーター: 藤田 洋治(山形大学地域教育文化学部教授)
パネラー: 秋山 秀一(旅行作家)
立松 和宏(『日本奥地紀行』の旅・研究会)
錦 啓(元山形県博物館館長)

【主催】 とうほく街道会議第14回交流会山形大会実行委員会[とうほく街道会議、アルカディア街道IB倶楽部、城下町やまがた探検隊、越後米沢街道・十三峠交流会、つるおかルネサンスの会、山形大学地域教育文化学部、国土交通省東北地方整備局山形河川国道事務所・東北運輸局山形運輸支局、山形県、山形市、真室川町、金山町、新庄市、舟形町、尾花沢市、村山市、東根市、天童市、上山市、南陽市、川西町、飯豊町、小国町、山形県観光物産協会、山形市観光協会] 【共催】 羽州街道交流会

(次頁へ続き)

【第3分科会】 「バードの足跡から見る地域景観」



➤ イザベラ・バードの足跡から代表的な新潟県(阿賀野川)、山形県、北海道の沿線景観を紹介していただき、その地域の景観を歴史・文化や地理・地質などの観点から探りました。

コーディネーター: 太宰 幸子(山形大学地域教育文化学部教授)
 パネラー: 川上 健(阿賀町観光ガイド)
 八木 浩司(山形大学地域教育文化学部教授)
 金子 正美(北海道・イザベラバードの道を進むの会会長)

● 第二部 街道談義

(山形国際ホテル・6Fスプラント)

【山形物産展】

(テルサホール・ホワイエ)



● アルカディア街道探訪会

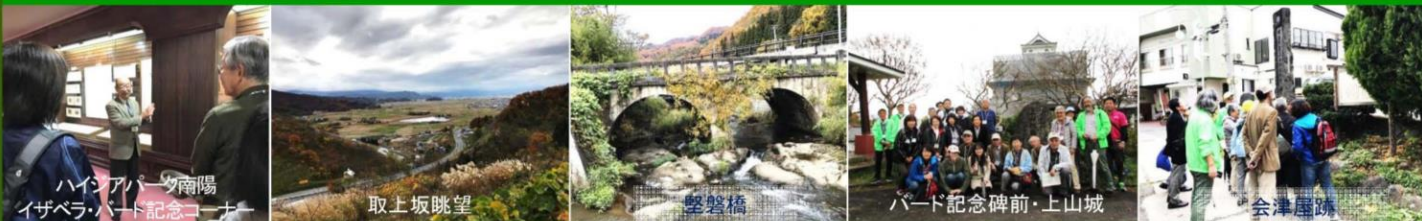
(平成30年11月10日)

バードの山形県内での足跡を5コースに分けて、「日本奥地紀行」の記載ポイントや関連する地域資源を辿りました。

【A:黒沢峠コース】 (小国町)



【B:赤湯～上山コース】 (南陽市～上山市)



【C:山形街歩きコース】 (山形市)



【D:天童～舟形コース】 (天童市～東根市～村山市～尾花沢市～舟形市)



【E:新庄～真室川コース】 (新庄市～金山町～真室川町)



【参加者の状況】 1日目(第一部フォーラム 465名、街道談義 113名)、2日目(アルカディア街道探訪会5コース計 116名)、2日間合計 504名(延べ 581名) ※みやぎ街道交流会会員もたくさん参加しました。

【次回開催】 万世大路をテーマに福島市開催の予定で検討を進めている。